



QuarkXPress 2018の新機能



Contents

QuarkXPress 2018の新機能	1
デジタルパブリッシング	2
Android	2
アプリとして書き出し	2
HTML5	3
の機能強化	3
設定変更	5
グラフィック	7
透明度ブレンドモードの機能強化	7
テキストと組版	8
フォント一覧.....	8
OpenType	8
の機能強化	8
カラーフォントのサポート	11
脚注 / 文末脚注のまたがり	12
ハイフネーションの改良	13
UIの機能強化	16
メジャーパレットの機能強化	16
PDFのサポート	19
タグ付き / アクセスが容易な	19
PDF	19
PDF	19
印刷エンジン	19
その他の新機能	20
ボックスのボーダー	20
IDML	20
の取り込み	20
V8	21
をベースとする	21
JavaScript ES6+	21

を搭載.....	21
----------	----

QuarkXPress 2018の新機能

本書では、QuarkXPress 2018の次のような新機能および機能強化について紹介します。

- ・ デジタルパブリッシング
 - ・ [Androidアプリとして書き出し](#)
 - ・ [HTML5の機能強化](#)
- ・ グラフィック
 - ・ [透明度ブレンドモードの機能強化](#)
- ・ テキストと組版
 - ・ [フォント一覧](#)
 - ・ [OpenTypeの機能強化](#)
 - ・ [カラーフォントのサポート](#)
 - ・ [脚注 / 文末脚注のまたがり](#)
 - ・ [ハイフネーションの改良](#)
- ・ UI
 - ・ [メジャーパレットの機能強化](#)
- ・ PDFのサポート
 - ・ [タグ付き / アクセスが容易なPDF](#)
 - ・ [PDF印刷エンジン](#)
- ・ その他の新機能
 - ・ [ボックスのボーダー](#)
 - ・ [IDMLの取り込み](#)
 - ・ [V8をベースとするJavaScript ES6+を搭載](#)

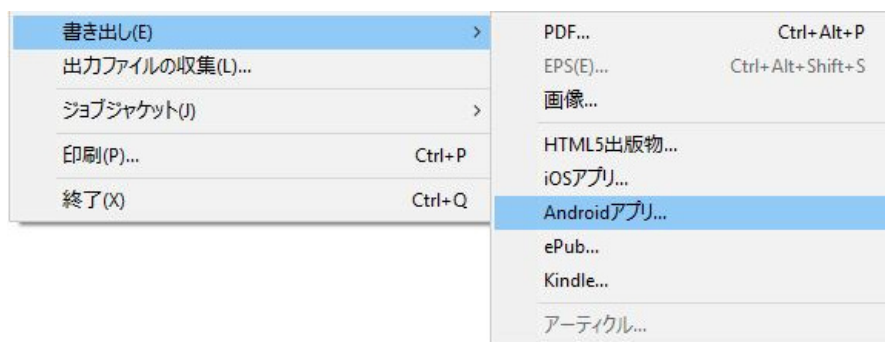
詳細については、『[QuarkXPress 2018ガイド](#)』を参照してください（<http://www.quark.com/support/documentation>）。

デジタルパブリッシング

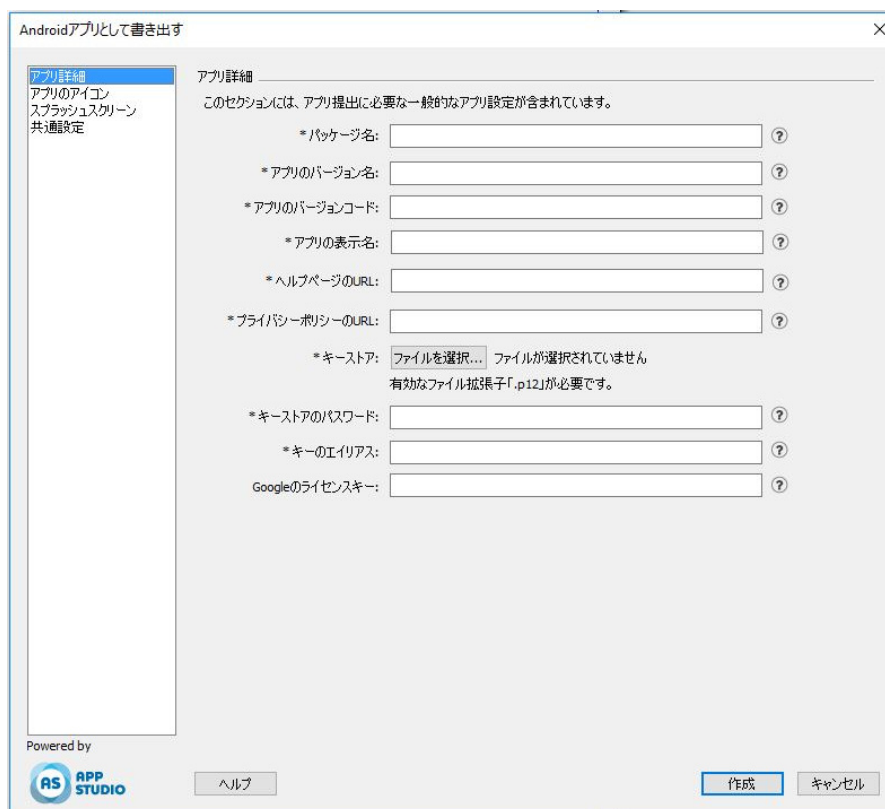
QuarkXPressのデジタルパブリッシング機能を強化するため、次の変更が加えられました。

Androidアプリとして書き出し

QuarkXPress 2018では、レイアウトをAndroidアプリとして書き出しできます。



Androidアプリとして書き出しを使用して、アプリの詳細を指定し、アプリのアイコンとスプラッシュ画面に使用するファイルを選択します。



HTML5の機能強化

UIの変更

アーティクルパレット

QuarkXPress 2018ではリフローのタグ付けパレットがアーティクルパレットに置き換えられたため、タグ付きPDFの書き出し機能でパレットを使用し、タグ付きアイテムの読み込み順序を指定できるようになりました。**更新**およびリフローズスタイルシートのマッピングボタンが削除され、パレットのフライアウトメニューの対応するオプションに置き換えられました。

- ➡ リフローePubおよびKindleを書き出すレガシー機能は、この変更により影響を受けません。

自動タグレイアウト

レイアウトメニューのページをリフロービューに追加オプションの名前が**自動タグレイアウト**に変更され、PDFのタグ付け以外に、リフローePubおよびKindleの書き出しにも使用できるようになりました。

自動タグ付け機能が強化され、最初のページのアイテムがタグ付けされるようになりました。以前のバージョンでは、これらのアイテムは無視されていました。

- ➡ レイアウトをリフローePubとして書き出すことを予定している場合、アーティクルパレットからページ1アイテムを削除し、表紙のアイテムが出力に2回出現しないようにします。

タグ付きテーブル

テキストと画像のコンポーネントに加えて、テーブル全体を単一のコンポーネントとしてタグ付け可能になりました。以前のバージョンのQuarkXPressでは、テーブルの単一のセルのみをコンポーネントとして追加できました。

結果として、テーブルをHTMLテーブルとしてリフローePubに書き出すことも可能になりました。

メタデータ

レイアウトメニューのeBookのメタデータオプションの名前がメタデータに変更されました。この機能は、すべてのフォーマット（PDF、ePub、Kindle、HTMLの書き出し）に適用可能なレイアウトメタデータをサポートするよう拡張されました。PDFの書き出しでも同じメタデータを使用するようになったため、PDF書き出しオプションと出力スタイルからはメタデータオプションが削除されました。

プレビュー機能の強化

QuarkXPressの以前のバージョンでは、HTML5出版物のプレビューのために完全なデジタルレイアウトのみを書き出しできました。QuarkXPress 2018では、次のHTML5プレビューオプションが使用可能になりました。

- ・ ページプレビュー - 現在のページをレンダリングします。
- ・ レイアウトプレビュー - 現在のレイアウトをレンダリングします。
- ・ プロジェクトプレビュー - 複数のレイアウトバリエーション（iPadとiPhoneなど）をレンダリングし、異なるページ幅（または縦横比）をシミュレートして、作成したレイアウトに合わせられます。

出力機能の強化

HTML5出力が、より多くのアイテムをネイティブのHTML要素として書き出せるよう拡張されました。

変更内容は次のとおりです。

1. 固定とリフローの両方のHTMLで、ネイティブの文字飾り（アウトライン、シャドウ）のサポートが追加されました。
2. アンカー付きテキストボックス、グループ化されたボックスおよびテーブルが、固定レイアウトHTMLのネイティブHTMLとして書き出されます。
3. 実線以外の罫線、脚注セパレータなどが固定HTMLにネイティブで書き出されます。
4. 索引の見出し語が固定HTMLにハイパーリンクとして書き出されます。
5. テーブルはHTMLテーブルとして書き出されます（固定およびリフローHTMLの両方で）。
6. デジタルレイアウトにおいても、テーブルのグリッドのライン幅を個別に変更できるようになりました。

- ➡ QuarkXPressの以前のバージョンでは、デジタルレイアウトにおいてはテーブルのグリッドがすべて同じライン幅でした。

出力ファイルの収集

出力ファイルの収集が、正しいデジタルインタラクティブ機能のアセットを収集するように強化されました。デジタルレイアウトに対して**出力ファイルの収集**を実行すると、次の2つの新しいフォルダが作成されます。

- **App Assets:** アプリに関連するアイテムが含まれます。例: iOS / Androidアプリとしての書き出し中に指定した、アプリのアイコンや証明書。
- **Interactivity Assets:** レイアウトアイテムに適用されているHTML5のインタラクティブ機能に関連する、画像、ビデオ、オーディオのファイル。

HTML5のインタラクティブ機能

アニメーションやボタンなどのインタラクティブ機能を、より多くのアイテムに適用可能になりました。

1. グループ化されたボックス
2. テーブル
3. ネスト構造のアンカーボックス

レイアウトの変換

レイアウトの変換機能が拡張され、デジタルレイアウトを印刷レイアウトに複製できるようになりました。

デジタルレイアウトのカスタム名

デジタルレイアウトに好きな名前を付けられるようになりました。以前のバージョンでは、デジタルレイアウトの名前を付けるためにデバイス名が使用されていました。

- ➡ QuarkXPressでは従来と同じく、レイアウトの方向に基づき、名前に「(V)」または「(H)」を追加します。
- ➡ デジタルレイアウトの**レイアウト名**フィールドは、**新規プロジェクト**、**レイアウトプロパティ**、**レイアウトの複製**ダイアログにあります。

設定変更

新しい`reader-config.json`ファイルを使用して、次の設定を行えます。

- ・ ページ遷移: より多くのページ遷移オプションを設定可能になりました。従来は、スライド遷移しか選択できませんでした。新たに、スライド、フェード、なしから選択可能になりました。
- ・ ツールバーのアイテムの順序変更
- ・ デスクトップで、横方向を有効／無効にできます（従来は、モバイルでのみ横方向を有効／無効にできました）。

新しい`ui-config.css`ファイルを使用して、次の設定を行えます。

- ・ アプリケーションのバックグラウンドカラー。
- ・ ツールバーのバックグラウンドカラー（静的なバックグラウンドカラーとホバー時のカラーに2つの異なるカラーを使用できます）。
- ・ ツールバーのアイテムのカラー（静的なカラーとホバー時のカラーに2つの異なるカラーを使用できます）。
- ・ スクラブバーのドラッグハンドルのカラー（静的なカラーとホバー時のカラーに2つの異なるカラーを使用できます）。
- ・ サムネールを示すタイムラインのバックグラウンドカラー。
- ・ 目次バナーのバックグラウンドカラー。

グラフィック

QuarkXPressのグラフィック機能を強化するため、次の変更が加えられました。

透明度ブレンドモードの機能強化

QuarkXPress 2018には、CMYKブレンディングカラースペース機能が追加されました。

従来は、オブジェクトに適用されたブレンドモードは、デフォルトで常にRGBカラーとしてレンダリングされていましたが、QuarkXPress 2018ではCMYKブレンディングカラースペースでレンダリングするオプションが追加されました。

オブジェクトや画像にブレンドモードが適用されるとき、デフォルトのレンダリングカラースペースは自動的にRGBブレンディングカラースペースにフォールバックします。CMYKブレンディングカラースペースに切り替えるには、**表示メニュー > 出力のプルーフ > コンボジットCMYK**を選択します。

書き出されたPDFのブレンディングカラースペースは、QuarkXPressの**出力**ダイアログで選択された出力カラーセットアップにより決定されます。

例：ブレンドモードが適用されているオブジェクトを含むページ / スプレッドが、**コンボジットCMYK**カラーセットアップを使用して書き出された場合、書き出されるPDFのブレンディングカラースペースはCMYKブレンディングカラースペースです。

書き出されたPDFのカラー結果をQuarkXPressのレイアウトと一致させるには、QuarkXPressのソフトプルーフとPDFビューアーのレンダリング方法プロファイルで、同じプロファイルを使用してください。

テキストと組版

QuarkXPressの組版とテキスト機能を強化するため、次の変更が加えられました。

フォント一覧

フォントファミリーと利用可能なフォントスタイル（欧文、太字など）が、2つの独立したリストとして一覧表示されるようになりました。

従来は、Windowsのフォントメニューで、フォントファミリーのフォントスタイルへ別々にアクセスできませんでした。ボールドとイタリックのスタイルは、Windowsの文字飾りコントロールからアクセス可能でした。Macでは、フォントメニューの別のサブグループで、フォントファミリーのすべてのフォントスタイルにアクセス可能で、フォントスタイルは完全な名前とともに表示されていました。

フォント一覧が利用可能なすべてのパレットとダイアログで、フォントファミリーとフォントスタイルが2つの別のリストとして表示されるようになりました。また、フォントスタイルは、パレットとダイアログで文字飾りボタンP / B / Iにマップされました。

OpenTypeの機能強化

OpenTypeスタイルの機能強化

OpenTypeスタイル機能のUIが大幅に改良され、はるかに使いやすくなりました。

OpenTypeスタイルに次の新機能が追加されました。

- ・ スラッシュ付きゼロ
- ・ 行頭記号
- ・ 装飾字形
- ・ 史的字体
- ・ 大文字からスモールキャップス
- ・ 大文字用字体
- ・ 大文字のスペース

書式セットの機能強化:

- ・ テキストに複数の書式セットを同時に適用可能になりました。
- ・ 書式セットの記述名を表示可能になりました。

分数機能が改良され、数字以外のテストにも適用可能になりました。

検索 / 置換ダイアログが拡張され、指定のOpenTypeスタイル機能が適用されているテキストを検索可能になりました。

OpenTypeスタイルパレット

メジャーパレットの**文字**タブにあるOpenTypeアイコンをクリックすると、**OpenTypeスタイルパレット**が表示されます。**OpenTypeスタイルパレット**は、F4ショートカットキーを押して表示する／閉じることができます。

ラジオボタンで示されるOpenType機能は相互に排他的で、いずれかの機能を選択する必要があります。チェックボックスで示されるOpenType機能は複数選択可能で、既に適用されているOpenType機能に新しいものを追加できます。



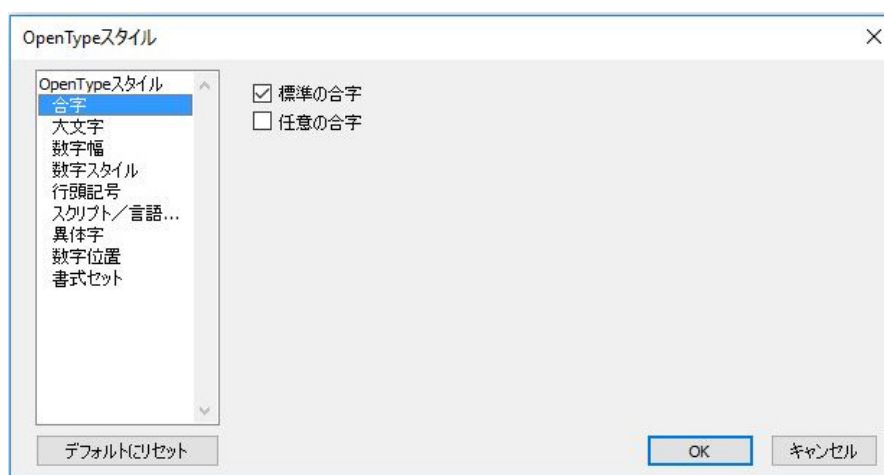
現在選択されているフォントに適用できないOpenType機能は灰色で表示されます。macOSでは、現在選択されているフォントにOpenType機能が含まれていない場合、OpenTypeパレットに「OpenType機能は利用できません」というメッセージが表示されます。

- ➡ macOSでは、現在選択されているフォントで利用可能な機能のみがデフォルトで表示されます。**すべてのOpenType機能を表示**ボタンをクリックすると、すべてのOpenType機能が表示されます。On Windowsでは、QuarkXpressで利用可能なすべてのOpenType機能が、たとえ現在選択されているフォントに適用されなくても自動的に表示されます。macOSでは、OpenTypeパレットの垂直方向のサイズを変更できます。

パレットには、機能の右側にそれぞれの機能のプレビューが表示され、その機能を適用した場合に現在選択されているテキストがどのようにレンダリングされるかを示します。

OpenTypeスタイルダイアログ

文字スタイルシートの編集  ダイアログのOpenTypeアイコンをクリックすると、OpenTypeスタイルダイアログが表示されます。



使用するOpenTypeスタイルの機能を指定すると、文字スタイルシートに適用されます。**デフォルトにリセット**をクリックすると、選択した部分が、スタイルシートに適用済みのデフォルト選択にリセットされます。

- ➡ このダイアログは、**検索 / 置換**パレットを使用し、OpenTypeスタイルの機能が適用されているテキストを検索するときにも表示されます。

カラーフォントのサポート

カラーフォントはデジタル組版の大きな革新となるもので、フォントファイルで豊富なグラフィック機能を実現します。カラーフォントファイルは通常のフォントファイルですが、文字の輪郭形状以外のグラフィックプロパティを表示するために追加データが埋め込まれています。

QuarkXPress 2018は次の3つのカラーフォントフォーマットをサポートしています。

- **SBIX**: Appleフォーマットで、字形とビットマップのラスターデータが含まれています。

- **COLR:** Microsoftフォーマットで、字形とベクトルデータが含まれています。
- **SVG:** AdobeおよびMozillaのフォーマットで、字形とベクトルおよびラスターデータが含まれています。

Adobe Illustrator 2018とAdobe Photoshop 2018はSVGおよびSBIXフォントをサポートしており、Text Edit、Pixelmator、Sketchの各アプリケーションはSBIXフォントをサポートしています。QuarkXPress 2018は3つのカラーフォントフォーマットをサポートしている唯一のアプリケーションで、COLRフォントをサポートする唯一のアプリケーションになります。

ベクトル字形をベースとするカラーフォントは、通常のフォントと同様に劣化なくサイズ変更できます。カラービットマップフォントは、写真や、ピクセルベースの画像と同様に、元の解像度に応じて特定のサイズまで正しく拡大できます。その解像度を超えると、カラービットマップフォントはピクセル化します。

QuarkXPressではサポートされている3つのカラーフォントフォーマットすべてに異なるフォントアイコンが使用され、通常のフォントではなくカラーフォントが使用されていることと、どのカラーフォントが使用されているかが簡単に区別できます。

カラーフォントフォーマットは、印刷、PDF、デジタル出力に使用できます。

単一のコードポイントを持つカラーフォント字形は、Macのシステム文字ビューアー（Cmd+Control+Escape）、Windowsの絵文字パネル（Windowsキー+,、またはWindowsキー+,）、またはWindowsのタッチキーボードの絵文字キーから挿入できます。

絵文字の字形とカラーフォント字形は、字形パレットから挿入できます。

これらのカラーフォントを使用するには、MacOSまたはWindowsでサポートされている3つのフォーマットのいずれかのカラーフォントをインストールします。これらのカラーフォントは、QuarkXPressの他のフォントと同様に使用できます。

- ➡ システムに、同じカラーフォントが複数のフォーマットで存在している場合、フォント一覧で優先度の高い順に列挙されます。優先度は SVG, COLR, SBIX

脚注 / 文末脚注のまたがり

複数の列にわたるテキストボックスで、脚注 / 文末脚注のセパレータスタイルに指定された**列間にまたがる脚注**属性を使用し、脚注 / 文末脚注を複数の列にまたがらせることが可能になりました。

脚注セパレータのスタイルの編集

名前(N): 新規脚注セパレータスタイル

☒ 脚注の横列

前段落との間隔: 自動 次段落との間隔: 自動

☒ セパレータスタイルの段落罫線

スタイル:  ソリッド

横: 1 pt カラー:  ブラック

シェード: 100% 不透明度: 100%

左からの距離(L): 0 px 右からの距離(R): 0 px

☒ 継続セパレータスタイルの段落罫線

スタイル:  ソリッド

横: 1 pt カラー:  ブラック

シェード: 100% 不透明度: 100%

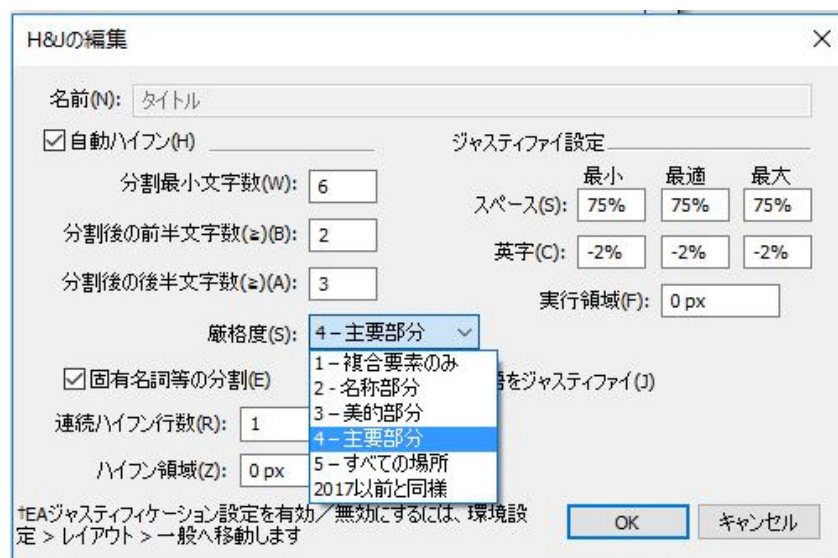
左からの距離(L): 0 px 右からの距離(R): 0 px

OK キャンセル

列間にまたがる段落の脚注は、他の脚注と同様に、列間にまたがる脚注として下に一覧表示されます。

ハイフネーションの改良

- ・ ハイフネーションおよびスペルチェックのライブラリが最新のバージョンに更新されました。
- ・ **厳格度**: ハイフネーションの**厳格度**を設定可能になりました。この**厳格度**はアプリケーションで固定ではなくなりました。ハイフネーションとジャスティフィケーションの編集ダイアログで、自動ハイフンの**厳格度**を指定できます。

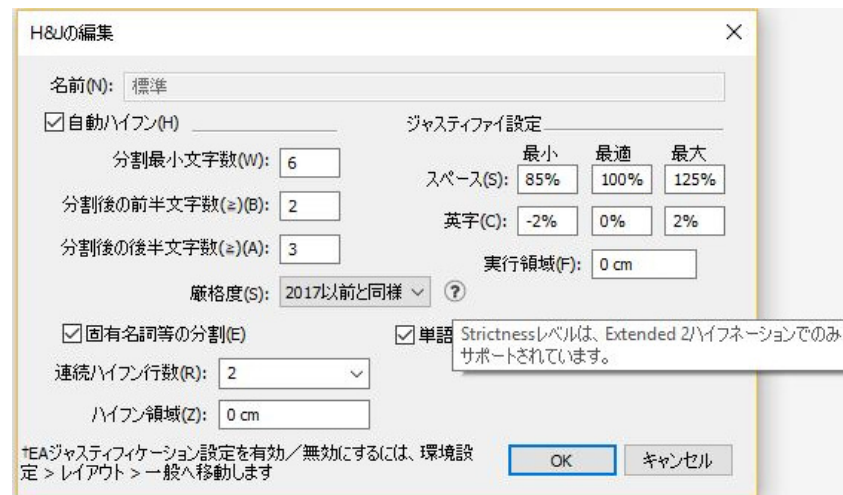


次の厳格度を選択できます。

- ・ 複合語のみ
- ・ 名詞句
- ・ 美的
- ・ 標準: これは QuarkXPress 2018 で新規プロジェクトを作成するときのデフォルトの厳格度です。
- ・ すべての場所
- ・ 2017 およびそれ以前と同じ: これは QuarkXPress 2018 でレガシードキュメントを開くときのデフォルトの厳格度です。

厳格度機能は Dieckmann ハイフネーションライブラリでのみサポートされます (Extended 2 ハイフネーション設定)。以前のバージョンでは、英語 (米国) やインターナショナル英語など一部の言語では、Dieckmann ハイフネーションライブラリがサポートされていませんでした。QuarkXPress 2018 では、すべての言語で Dieckmann ハイフネーションライブラリ (Extended 2 ハイフネーション設定) がサポートされています。

QuarkXPress 2018 でレガシードキュメントを開くとき、情報アイコンは **H&J の編集** ダイアログに表示され、厳格度機能は Extended 2 ハイフネーション設定でのみサポートされることを示します。



レガシードキュメントに厳格度を適用するには、ユーザーがExtended 2ハイフネーション設定を環境設定（[環境設定](#) > [段落](#) > [ハイフネーション設定](#)）で有効にする必要があります。

- QuarkXPress 2018で作成される新規ドキュメントでは、Dieckmann以外のハイフネーションライブラリ（Standard、Expanded、Enhancedなど）のサポートはすべて破棄されます。XTension開発者により作成されたハイフネーションライブラリは、QuarkXPress 2018でも引き続きサポートされます。

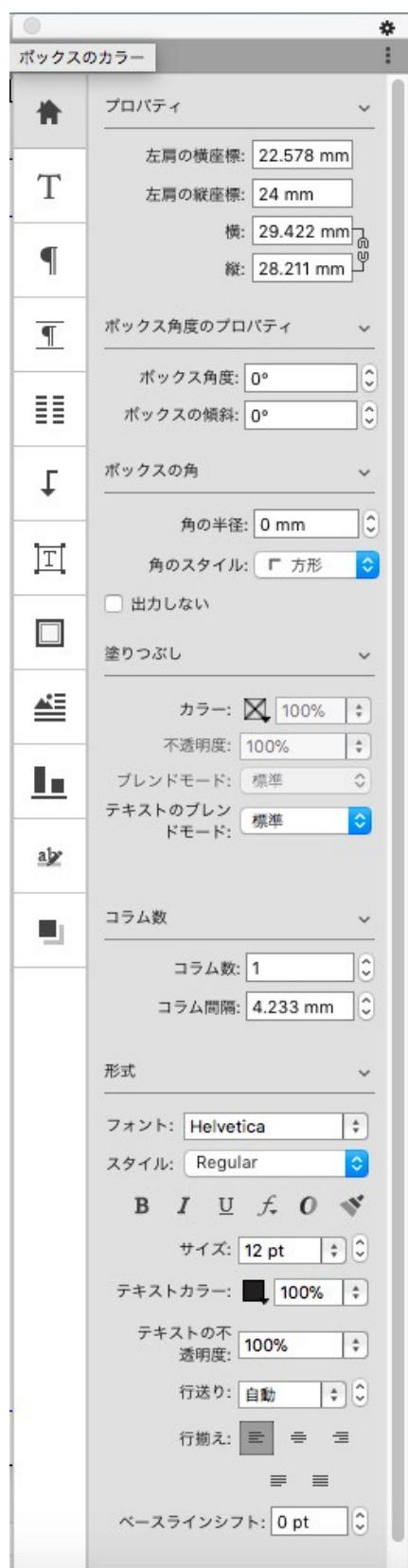
UIの機能強化

メジャーパレットの機能強化

- *Windows*では、タブのアイコンとラベルが、*macOS*のメジャーパレットでの表示と一致するよう置き換えられました。



- 設定ダイアログにあるコントロールはすべて、**メジャー** パレットの各タブからアクセス可能になりました。
- 文字属性、フォーマット、段落罫線、**タブ** ダイアログはすべて**スタイル** メニューから削除され、これらのコントロールは **メジャー**パレットの各タブにマップされました。
- *macOS*では、**メジャー**パレットの方向を水平方向から垂直方向に変更できます。



垂直方向では、次の操作が可能になります。

- ・ タブのセクションを折りたたむため、必要な項目を表示させるためにスクロール操作を続ける必要がなくなります。
- ・ パレットの幅を拡大／縮小できます。

UIの機能強化

- ・ パレットはアプリケーションの左側または右側のみにドッキングでき、上端や下端にはドッキングできなくなります。

PDFのサポート

タグ付き／アクセスが容易なPDF

アクセシビリティ準拠のPDFは重要なだけでなく、多くの場合に必要不可欠なものです。多くの大企業、政府機関、サプライヤは、アクセシビリティ対応のフォーマットで発行された情報をオンラインで提供することを、法により義務付けられています。この選択肢として確実なのはHTML5ですが、ワークフローでは多くの場合にアクセシビリティ対応のPDFが要求されます。QuarkXPress 2018の新しいPDFエンジンに、アクセシビリティ用の新しいツールを組み合わせることで、この問題を解決できます。アクセシビリティ上の理由でタグ付きPDFを必要としない場合でも、PDF内に埋め込まれているテキストのフローを理解できることには、多くの利点があります。

PDF印刷エンジン

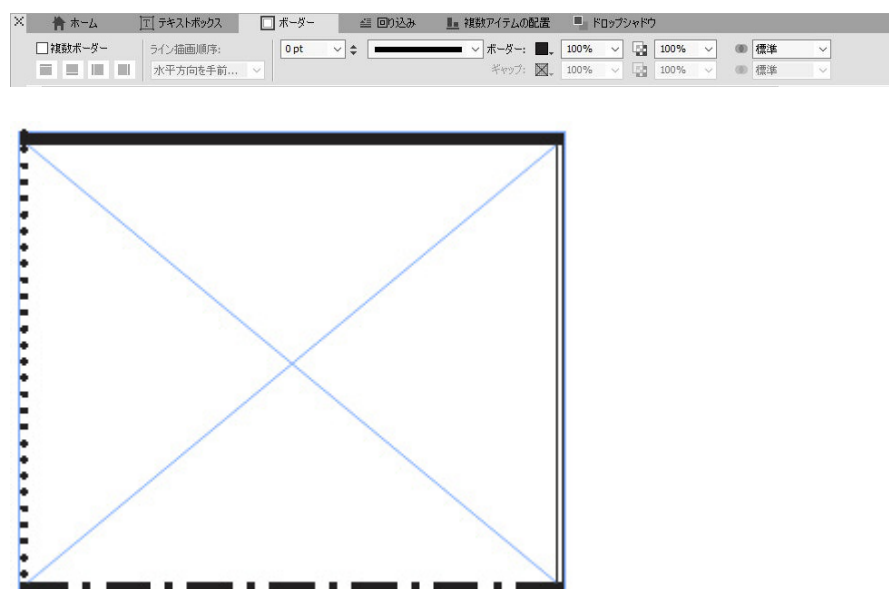
弊社は市場で入手可能な最良のPDFテクノロジーとして、callas[®] pdfToolboxを実装しました。これにはAdobe[®] PDFライブラリも含まれています。

これによってQuarkXPress 2018のユーザーは、2つの最高のPDFテクノロジープロバイダーにより推進される、最高品質のPDF、PDF/X、PDF/Aの恩恵を受けられるようになります。この最先端のPDFテクノロジーにより、QuarkXPress 2018は、PDF/X-4とPDF/A-2bの両方の規格に適合する単一のPDF/X-Aファイルを作成できる、最初のレイアウトアプリケーションとなりました。新しいJavaScript機能に標準対応する新たなPDF印刷エンジンは、印刷物制作の自動化に新しく広大な道を拓きます。

その他の新機能

ボックスのボーダー

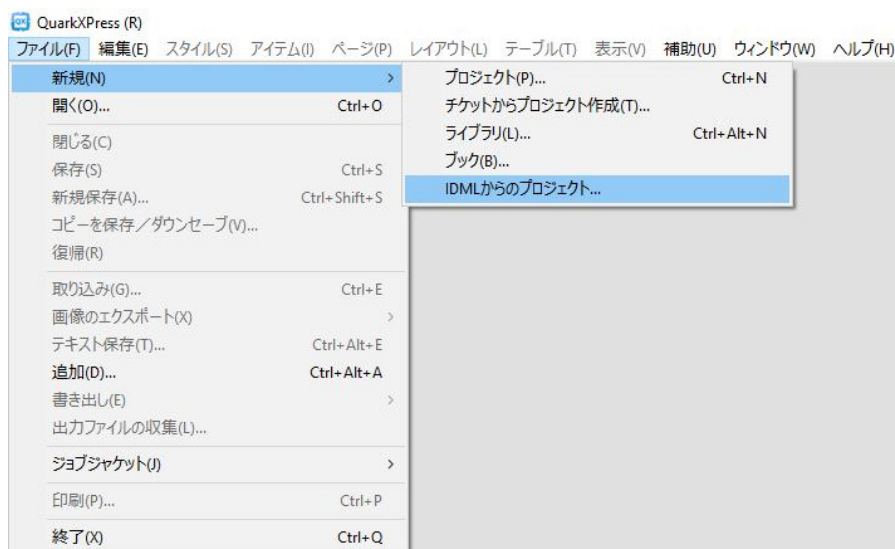
メジャーパレットの**ボーダー**タブを使用して、ボックスの各サイドに別のボーダーを適用できるようになりました。



IDMLの取り込み

QuarkXPressのIDMLの取り込み機能では、InDesignで作成されたIDMLドキュメントを、テキスト、画像、すべてのアイテム、スタイルシート、カラー、ブレンドモード、グラデーション、アンカー付きアイテムなどすべてのアセットも含めてQuarkXPressプロジェクトに変換できます。

IDMLファイルをQuarkXPressに取り込むには、**ファイル > 新規 > IDMLのプロジェクト**を選択し、IDMLファイルを選択します。



V8をベースとするJavaScript ES6+を搭載

スクリプト機能と拡張性は、QuarkXPressが常に大切にしてきた価値です。

QuarkXPress 2018では、クロスプラットフォームのJavaScriptを作成し、ユーザーインターフェイスからは使用できない機能にアクセスして、繰り返し作業を自動化できるようになりました。たとえば、JavaScriptおよびHTMLの基本的なプログラミング技能（HTML DOM操作）があれば誰でも、アプリケーションやファイルシステムレベルのコマンドにアクセスして独自の機能を作成できるほか、ドキュメントオブジェクトモデル（DOM API）を使用してレイアウトオブジェクトを変更することもできます。競合製品とは異なり、QuarkXPressはJavaScriptの最新バージョン（ECMAScript ES6+）を使用しています。